



9月9日、日本民主青年同盟(民青)埼玉県委員会と春日部班は、「若者応援街角フードパントリー」を実施しました。当時は16名が参加し、34人にお米、野菜、カップ麺やレトルト食品のほかに

## 「同年代なのにすごい!」と共感 民青同盟がフードパントリー

# 新春の春日部

発行  
日本共産党  
春日部市委員会  
春日部市柏壁東  
6丁目7-12  
電話 748-5159  
FAX 748-5179

困った学生など、生活にお困りの学生・若者を支援するため、全国で「食料無料配布プロジェクト」に取り組んでいます。春日部では今回が初めての試みとなりました。

コロナでバイトができない学生・若者を支援するため、全国で「食料無料配布プロジェクト」に取り組んでいます。春日部では今回が初めての試みとなりました。

### 若者支援にと 支援物資が続々と

マスク、トイレットペーパー、生理用品などを無料で配布しました。

### 春日部では 初めての試み

駅前では、プロジェクトの趣旨などを説明するチラシを配布しながら、袋詰めした食料品などを配布し、生活実態アンケートにも協力してもらいました。

日本民主青年同盟(民青)は15歳から30歳の若者が、日本共産党を相談相手に「ブラック企業」「格差と貧困」「地球温暖化」など、身近なできごとにについて学び、よりよい未来のために行動しています。

また、駅近くの共産党後援会事務所を借りて、困りごと相談や青年学生を支援する制度の紹介もおこないました。

当日配布したお米、野菜、インスタント食品のほとんどは「若い方を支援するために使ってほしい」と寄せられた支援物資です。

困難な生活実態が浮き彫りに

「パワハラに苦しんで、思い切って仕事を辞めた。現在求職中で、こういう取り組みは助かります」と話す女性。

「政治とかは自分と違うところで動いてると思うから選挙に行つたことはない」という

20歳の学生は「格差が広がって希望がないって感じているので、同年代の人がこんなことやってるのはすごい!」と民青の取り組みに関心や共感が寄せられました。

10名が協力したアンケートでは、若者の生活実態の困難さが改めて浮き彫りになりました。

民青同盟春日部班では、継続して「街角フードパントリー」に取り組むことを決めました。

第2回は10月7日(金)午後8時~9時におこないます。



大野とし子議員一般質問

## 豪雨災害から市民の命を守れ！

### 水角排水機場の自動化を



ができます。

中川は、土手の強化が不十分で、川幅も狭い状況にあります。中川周辺の地域は、高台からの水が全て中川に入り込むため大雨が降る度に冠水被害が起きています。中川に流れ込む18号

9月12日(月) 大野とし子議員は①河川、用排水路の整備で、豪雨災害から市民を守れ！②福祉避難所運営方針を確立し、安心安全な避難生活について、一般質問を行いました。

### 中川の拡幅、18号水路の定期的な修繕を

水路は、庄和北部から中川まで庄和地域を縦断する長い水路です。修繕が不十分な所も多く、樹木が生い茂っています。また、用排水路からの水を中川に排水する水角排水機場は、中川流域の排水機場で唯一手動です。

今年も全国各地で、豪雨災害が頻発しています。豪雨の状況を予想するのは難しかったとしても、日常的に災害への備えをしっかりとおけば災害を防ぐこと

修や拡幅に取り組むこと、伐採など修繕を行うこと、水角排水機場は、地域の声を聞きつつ、自動化の検討を行うこと」を求めました。

市長は、「近年の集中豪雨に対しても中川の整備をすることが最も効果的であり、整備促進を国、県に強く要望していきたい。」と答弁しました。

### 福祉避難所運営の確立と共通理解を

東日本大震災において、日常と違う場所に慣れない障害者が避難所に入れず、多くの犠牲者を出したことを教訓として、その後各自治体に障害者や高齢者のための福祉避難所の設置が義務づけられました。

大野議員は、「中川の堤防決壊は他人事ではない。国や県と協議し、土手の改

設置に取組み、障害者や高齢者のための避難所が設置されました。しかし、避難所での運営方針が、協定を結んだ施設において共通理解が図られていません。福祉避難所に整備するべき備品は、原則市が準備することになつていますが不十分です。

大野議員は、安心、安全な避難所運営となるよう、市が準備することになりますが不十分です。

大野議員は、安心、安全な避難所運営となるよう、市が準備することになりますが不十分です。

①避難所間の共通理解を図るために話し合いを持つこと

②必要な備品は早急に準備し、特に非常用電源は医療的にも、食事の面でも重要なものを用意すること

③第一次避難所における指示が明確に出せるよう、福祉部局と災害対策部局はしっかりと連携し、福祉避難所運営が安心安全なものになるよう取り組むこと。

**市立医療センター☎735-1261(夜間毎日土・日・祝)内・外科系 救急電話相談#7119**

9/18(日)(内科系) つちだクリニック 一の割1726 電話 733-2900 (小児科系) 春日部在宅診療所ウエルネス 内牧3701-1エミナース1階 電話792-0772 (外科系) 小笠原医院 新宿新田319-2 電話746-0088  
 9/25(日)(内科系)春日部さくら病院:金崎701-1 電話:746-7071 (小児科系) 豊春内科小児科クリニック上蛭田681 電話760-2300 (外科系) 原田皮膚科医院 大衾307-28 電話:746-7770